

令和 8 年 3 月 19 日

国土交通省関東地方整備局

企画部

河川部

技術提案評価型 S I 型の試行工事を発注します。

～河川工事で初めて総合評価落札方式「技術提案評価型 S I 型」の発注手続きを行います。～

関東地方整備局発注の R 8 荒川第二・三調節池基盤整備工事において、関東地方整備局の河川工事で初めて総合評価落札方式「技術提案評価型 S I 型」による発注手続きを実施します。

関東地方整備局発注の R 8 荒川第二・三調節池基盤整備工事において、関東地方整備局の河川工事で初めて総合評価落札方式「技術提案評価型 S I 型」による発注手続きを実施します。

公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成 17 年 3 月 31 日法律第 18 号）が令和 6 年 6 月に改正され、同法第 7 条 2 項および同 6 項において「価格に加え、工期、安全性、生産性、脱炭素化に対する寄与の程度その他の要素を考慮して総合的に価値の最も高い資材、機械、工法等」を、経済性に配慮しつつ採用するよう努めることが発注者の責務とされました。

これを踏まえ、一定の範囲内で費用を計上することを前提として、技術提案を求める総合評価落札方式「技術提案評価型 S I 型」を今年度から試行しています。

本工事（R 8 荒川第二・三調節池基盤整備工事）は、長距離の河川土工において、猛暑日を含む通年で、上下流より並行作業することから、工事現場の安全の確保と施工管理を効率的に実施できるよう、省力化・省人化を踏まえた自動・遠隔化施工に対する技術提案を求めることが有効であることから、総合評価落札方式「技術提案評価型 S I 型」の試行として発注するものです。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局

電話：048-601-3151（代表） FAX：048-600-1375

（技術提案評価型 S I 型について）

企画部 技術調査課 課長補佐 山田（やまだ）（内線：3256）

（工事内容について）

河川部 河川工事課 課長補佐 澤野（さわの）（内線：3715）

